

医教連携フォーラム2023

—そなえる&ふせぐ 安心な学校づくり—
**医教連携によって開発した
食物アレルギー等緊急時
対応プログラムの実践**



地方創生SDGs
官民連携
プラットフォーム

私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



**参加費
無料**

【事前申込制】

日時 令和5年 **12月25日** 月 13:30 ~ 16:00

会場 **ウイングあいち 12階 中会議室A 1201** (名古屋市中村区名駅4丁目4-38)

主催/愛知教育大学、藤田医科大学

共催/地域を支える人材育成プラットフォーム 後援/愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会

プログラム

13:30 主催者あいさつ
13:40 愛知教育大学 学長 野田 敦敬

13:40 研究発表 I
14:10 【学校におけるアレルギー対応体制構築】
愛知教育大学 地域連携センター委員/准教授 岡本 陽

14:10 ワークショップ I
14:50 【食物アレルギーの基礎とアナフィラキシーの症状】
藤田医科大学 地域連携教育推進センター長/教授 石原 慎

14:50 休憩
15:00

15:00 ワークショップ II
15:40 【実技トレーニングデモンストレーション】
藤田医科大学 地域連携教育推進センター長/教授 石原 慎
愛知教育大学地域連携センター委員/准教授 岡本 陽

15:40 質疑応答
15:50

15:50 総括
16:00 愛知教育大学 地域連携センター長/教授 大鹿 聖公

本物の針の出る注射器シミュレータと実際の肌の弾力を持つマネキン人形を用いて実技が体験できます。

趣旨

愛知教育大学地域連携センターは、大学と地域との連携強化を目的として2009年10月に開設されました。その役割として、社会貢献及び地域の教育的・文化的発展の推進が期待されており、センター内において様々な活動を行っています。その一つとして、医教連携を深めていくことを目的に2015年3月に締結した本学と藤田保健衛生大学(現 藤田医科大学)の連携協定があります。医療・医学と教育の連携を生かして、子どもの健康課題をはじめとする様々な問題に対し研究を進め、地域社会への貢献につながることを期待されます。

本フォーラムでは、藤田医科大学と共同研究を行っている「食物アレルギー」をテーマに、アナフィラキシーショック症状への対応を行ううえで必要な実技の習得を行い、事例検討から学校教育現場での体制構築や情報共有などについてディスカッションすることで、学校教育現場における緊急時のあり方を考える機会とします。



参加申込 **締め切り/令和5年12月18日(月) 定員50名(先着順)**

申込方法 / 下記URLまたはQRコードから申込みサイトにアクセスし、お申込みください。

<https://wuke.jp/aichi-edu/entries/add/609>



- *申込みサイトからお申込みができなかった場合は、下記お問合せ先までご連絡ください。
- *連絡先については、悪天候等の理由による中止等の急を要する連絡の際にも使用しますので、勤務時間外にも連絡が取れる電話番号・メールアドレスをご記入ください。
- *個人の情報については、目的外の使用はいたしません。
- *登録いただいたメールアドレスによっては、自動返信メールが届かない場合があります。届かない場合は、下記お問合せ先までご連絡ください。

お問合せ先

愛知教育大学 地域連携センター(担当事務:地域連携課 地域連携係)

〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1番地

TEL: (0566) 26-2129 FAX: (0566) 95-0552 E-mail: chiiki@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

アクセス



- JR名古屋駅から徒歩5分
- 名古屋高速都心環状線「錦橋」出口より約6分(地下2~3階に123台収容の有料駐車場有)